

第41回 全国学童保育指導員学校 西日本岡山会場 午後の講座

講座の末尾の番号は、指導員の研修科目(認定)に該当するものです。



基礎講座 - 講義中心の子どもの発達や集団づくりなど基礎的な理論と内容 -

1 学童保育指導員の役割と仕事

講師 ● 小野智子(岡山県岡山市指導員)

働く親の切実な要求を原点として発展してきた学童保育の役割と学童期の子どもの理解、また子どもたちが置かれている現状を踏まえて、指導員の役割と仕事の基本を学びます。 6-15

2 子どもの権利条約を学ぶ

講師 ● 増山 均(早稲田大学)

子どもの権利条約は「差別の禁止」「最善の利益」「生命、生存、発達の権利」「意見表明権」を柱とした国際条約です。学童保育で子どもの権利をどう保障するのかを学びます。 1-2



理論講座

3 子どもの発達を学ぶ

講師 ● 田丸敏高(福山市立大学)

「発達」の概念と子どもの発達の道筋をていねいに学び、豊かな発達を保障するための生活づくりについて考えます。 2-4

4 障がいのある子ども理解を深め、ともに育ちあう

講師 ● 渡邊亮太(くらしき作陽大学)

障がいのある子、発達障害の子どもをどう理解するかを学び、受け入れの準備や課題、ともに育ちあう生活づくりと指導員の関わり方を学びます。 3-10



実践講座 - 学童保育の実践を豊かにするため具体的な実践報告に基づいて深め合う -

5 学童保育の生活と集団づくり

助言者 ● 福田敦志(大阪教育大学)

子どもたちひとりひとりが安心してのびのびと生活できる仲間づくり、共に高め合う集団づくりを実践から学びあいます。 3-8

6 保護者に生活内容を伝え、考え合う

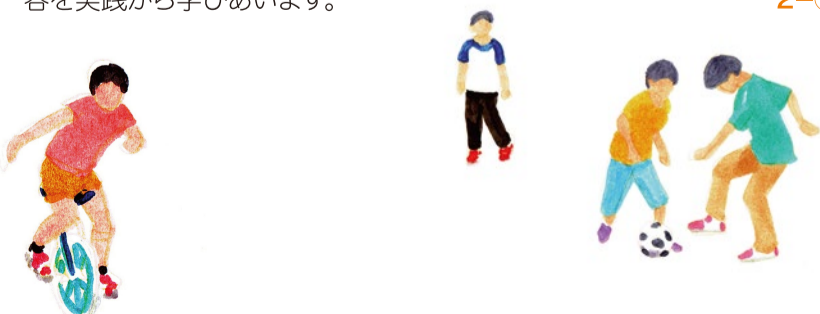
助言者 ● 中野加奈子(大谷大学)

子どもの生活について、何を大切にし、どのように伝え合っているのか、お互いの実践を交流しましょう。 4-11

7 高学年と学童保育の生活

助言者 ● 川地亜弥子(神戸大学)

高学年の子どもたちの要求をとらえた生活づくりと、大切にしたい保育内容を実践から学びあいます。 2-5



8 保育実践に生かす記録

助言者 ● 二宮衆一(和歌山大学)

子どもの理解を深め、課題を明らかにするためには、実践を記録し検討を重ねることが大切です。どのように記録し、活用するか。保育実践へ繋げていくか?また、どのように見通しを立てていくかを学び合います。 3-8

9 職員のチームワーク

助言者 ● 林 俊克(就実大学)

よりよい保育を行うには、指導員集団での子どもの事実の共有・打ち合わせ・ミーティングなどが大切です。指導員のチームワークについて実践から学び、考えます。 6-15

実技講座

10 みんなであそぼう!

講師 ● 兵庫県学童保育連絡協議会あそびプロジェクト

学童保育の生活の中心である「あそび」の導入や発展、指導員の関わりなど、実技を中心に学びます。(動きやすい服装で参加ください) 3-9

特別講座

11 子ども子育て支援新制度と学童保育

講師 ● 前田美子(全国学童保育連絡協議会副会長)

糸山智栄(岡山県学童保育連絡協議会会長)

新制度がスタートし、学童保育にかけられる国の予算も大きく変わりました。しかし、市町村の取り組みは追いついていない現状です。各地の状況をしり、よりよい学童保育施策・制度について深め合い地域の力にしていきたいしましょう。 1-1

キリトリ

第41回 全国学童保育指導員学校西日本[岡山]会場参加申込書

(フリガナ)		指導員歴	年	ヶ月
申込者氏名		参加回数	はじめて /	回目
性別	男 ・ 女	お立場	保護者(OB含む)/その他()	
受講票送り先 (送付先が職場の場合、必ず学童保育名をご記入ください)		学童保育所名・所在地		
職場・自宅(〒 -)		保育所名		
		都道府県・市区町村		
電話番号	講座変更など確認のために連絡する場合がありますので、昼間連絡の取れる連絡先をご記入下さい [自宅・クラブ・携帯] () -			
Eメール	@			
希望講座	第1() 第2() 必ず第2希望までお書きください	お弁当希望	なし・あり()個	
保育希望	なし・あり(歳)()人 ●特記事項・アレルギーなど			
送金日(/)	送金額(¥	内訳)		

参加費 2,000円 + 弁当代 800円 × () 計 円を添えて申し込みます。

●参加費・弁当代を郵便振替にて入金し、払込書兼受領書のコピーと必要事項を記入した申込書を郵送またはメールでお送り下さい。メールでのフォームは、岡山県学童保育連絡協議会へお問い合わせ下さい。